

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 5 月 23 日現在

機関番号：14101

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19K19739

研究課題名（和文）精神保健分野における開業保健師活動に必要な要素の探求

研究課題名（英文）Exploration of the elements necessary for the activities of practicing independent health nurses in the field of mental health

研究代表者

井倉 一政（Igura, Kazumasa）

三重大学・医学部附属病院・助教

研究者番号：60733011

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の目的は、精神保健分野の開業保健師の実践活動に必要な要素を明らかにすることである。文献検討やフォーカスグループインタビューの結果から、起業準備、ビジネスマナー、営業の要素が必要であると示唆された。これらの要素を反映させたオリジナルプログラムを構築し、実際に開業を目指す保健師にこのプログラムを提供した。その結果、「起業を見越したキャリアの棚卸し」、「起業ノウハウの獲得とイメージの醸成」、「事業創出の難しさ」、「事業主視点を活かしたキャリア再考」などを学ぶことができ、開業保健師の実践活動に必要な要素の確認ができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果は、精神保健分野の開業保健師の実践活動に必要な要素の一部を明らかにできたことである。またその過程で、トライアルとして開業保健師の養成プログラムを実際に試行的に実施し、プログラムの評価を実施することができた。開業保健師養成プログラムの受講者からもプログラム内容のフィードバックを得て、保健師が開業する際の学びのプロセスの一部も明らかにすることができた。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study was to delineate the essential elements for the professional endeavors of independent health nurses within the mental health sector. The results of literature review and focus group interviews indicated that the elements of entrepreneurial preparation, business etiquette, and sales are indispensable.

We developed a novel program that incorporated these elements. We then offered this program to health nurses aspiring to start their own ventures.

The results indicated that the participants were able to gain insights in four crucial areas: conducting a self-assessment of their careers in anticipation of starting a business, acquiring entrepreneurial skills and building a professional image, grappling with challenges of establishing a business, and reevaluating their careers trajectories from the perspective of a business owner. Thus, we were able to identify the essential components vital for the operational success of independent health nurses.

研究分野：公衆衛生看護

キーワード：開業保健師

1. 研究開始当初の背景

保健師は、個人・集団・地域の健康管理、健康づくり、疾病予防を通じて、その対象の健康と質の高い生活を支援する専門職である。看護関係統計資料によると、約 9 割の保健師が行政や産業などの組織に所属しているが、組織に属さずに活動する開業保健師も少数、存在している。開業保健師は、「精神保健の分野でも、行政では不可能なきめ細やかなサービスを展開することができる開業保健師は、地域の課題を解決し、必要な社会資源を創出することができる」と先行研究として報告した¹⁾。

日本の精神疾患の生涯罹患率は、諸外国と比較して高く、精神疾患は人々の健康に大きな影響を与えている。行政保健師のメンタルヘルス支援だけでは、十分に支援が行き届いていない現状があり、精神保健分野での開業保健師活動の重要性が高まっている。精神保健分野の開業保健師の養成プログラムの開発が望まれているが、精神保健分野の開業保健師の実践活動に必要な要素は、いまだ明らかにされていない。

2. 研究の目的

開業保健師の取り組む精神保健分野の実践活動に必要な要素を明らかにすることを目的とした。また、精神保健分野の開業保健師の実践活動に必要な要素を明らかにすることで、開業保健師の養成プログラムの開発にも役立つ成果が得られる可能性がある。

3. 研究の方法

(1)要素の検討とプログラム案の作成

精神保健や開業保健師、アントレプレナーシップ等の先行研究の文献調査と、国内の開業保健師のグッドプラクティスの視察を参考に、複数の精神保健の専門家と開業保健師の実践家、研究者で必要な要素を検討、抽出し、プログラム案を作成する。作成したプログラム案は、フォーカスグループインタビュー法を用いて、開業保健師とこれから起業しようとする保健師に信頼性・妥当性を確認してもらう。

(2)開業保健師養成プログラムを実施

試行的に開業を希望する保健師に開業保健師養成プログラムを実施し、プログラム実施後にインタビュー調査を実施する。調査の内容は、「プログラムに参加したきっかけ・動機」と「プログラムからの学び」である。記述内容は、「プログラムに参加したきっかけ・動機、プログラムからの学び」の視点で熟考し、コードを作成する。次に抽象度をあげ、サブカテゴリー、カテゴリーを生成する。研究対象者には、コード・サブカテゴリー・カテゴリーを生成した段階で、自分が話した内容の欠落がないか確認してもらう。

倫理的配慮として、対象者には、研究の目的及び意義、プライバシー及び個人情報の取り扱い、自由意志による参加であり拒否する権利を有すること、辞退しても不利益はないこと、研究への参加に伴うリスク、研究結果の公表方法などを文書と口頭で説明し、研究同意書に自筆のサインを得た。

4. 研究成果

(1)精神保健分野の実践活動に必要な要素とプログラム案

先行研究の文献調査からは、精神保健分野の実践活動に必要な要素として、「起業への思い」「資金の流れ」「実際の事業の手続きの流れ」「営業のスキル」「基本的ビジネスマナー」が明らかになった。開業保健師のグッドプラクティス視察とインタビュー調査の結果、文献調査の詳細な結果として、起業準備として「開業の事務手続き」「開業形態の選び方」「金融機関の活用」「活動のための保険」、営業として「営業方法」「名刺交換」「プレゼンテーション」「SNSの活用」、ビジネスマナーとして「社会人基礎力」「メイク」「笑顔」の項目が抽出された。

これらを参考に、プログラムを作成した。プログラムは、6 か月間で合計 10 回（各 3 時間）の講座（表 1）と、自主学習用の動画教材（表 2）を作成した。

(2)開業保健師養成プログラムを実施

母親のメンタルヘルス分野と働く世代のメンタルヘルスの分野で開業希望の保健師 2 名に対して、2021 年 6 月～11 月に開業保健師養成プログラムを実施した。

その結果の学びを質的機能分類法を用いてまとめると、33 コードが抽出され、9 サブカテゴリーと 4 カテゴリーが生成された(表 3)。

以上のことから、精神保健分野の実践活動に必要な要素や開業保健師養成プログラムの内容についても、今回の調査結果では、特に精神保健に焦点化した内容は抽出されなかった。おそらく、活動の前提となる精神保健の知識や経験は十分に備えたうえで、開業に至っているためと考えられる。開業保健師の養成プログラムとしては、どの分野でも有用な内容を網羅的に実施することが重要である可能性が示唆された。

表1 精神保健分野の実践活動に必要な要素を踏まえた開業保健師養成プログラム

	内容
1回目	やりたいことを仕事にするには
2回目	事業計画
3回目	事業構想
4回目	事業化に向けてのインタビュー
5回目	事業計画発表
6回目	グループワーク&個人メンタリング
7回目	グループワーク&個人メンタリング
8回目	グループワーク&個人メンタリング
9回目	グループワーク&個人メンタリング
10回目	事業計画完成、最終発表

表2 開業保健師養成プログラムの自主学習用の動画教材の内容

起業準備	保健師の開業 開業形態(法人・個人のちがい) 開業準備 銀行の活用・融資 保険 共同経営・事務所
ビジネスマナー	好印象を与えるマナー ビジネスメイク 社会人基礎力 笑顔レッスン
営業	基本的営業スキル 名刺交換 プレゼンテーション SNSの活用

表3 開業保健師養成プログラムに参加した学び

カテゴリ	サブカテゴリ	コード
起業を見越したキャリアの棚卸し	保健活動のキャリアの振り返り	自分を見つめなおし続けることの重要性
		保健師のアイデンティティの再認識
		保健師活動の原点回帰
		行政と開業の活動の差異
		従業員になるための教育への課題意識
	自分の知識や経験の限界	経験への固執を認識
起業ノウハウの獲得とイメージの醸成	具体的な起業の方法	起業のノウハウ
		必要な分析の学習
		話し方
		動画教材の活用
	開業の具体的なイメージづくり	開業保健師の具体的な活動内容
		起業に対する心持ち
事業の創出の難しさ	活動の意義を見出す難しさ	宿題に取り組む楽しさ
		サービス提供のイメージの不足
		保健師の専門性を考慮しない事業化
	事業を創出する苦しさ	やりたいことを言語化する難しさ
		自分が取り組む意義を思考する困難性
		自分の強みを見つける困難さ
事業主視点を生かしたキャリア再考	事業主視点の獲得	成果を出せない苦しさ
		事業づくりの苦しさ
		期待に応えられない申し訳なさの実感
	いま起業しないという選択肢	ギブバックできない辛さの実感
		ノウハウの獲得だけの起業の困難さ
	新たな縁と安心感	宿題の苦しさ
顧客の視点で考えることの習慣化		
事業主視点の獲得	事業主としての責任を自覚	
	開業のリスクに対する認識	
新たな縁と安心感	起業できずともよいという考え	
	起業を目指し続けることの大切さ	
新たな縁と安心感	協力者の存在への安心感	
	開業保健師との新たな縁	

<文献>

- 1) 井倉一政：「住宅提供事業を行う開業保健師の活動の考察」日本プライマリ・ケア連合学会誌 第41巻3号 133-135 2018.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 井倉一政、徳永京子、川添高志、村田陽子、押栗泰代、水越真代、齋藤明子	4. 巻 4
2. 論文標題 保健師向けオンライン起業塾に参加した保健師の学び	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 開業保健師研究	6. 最初と最後の頁 18-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 岡野傑、井倉一政	4. 巻 3
2. 論文標題 民間大家による住宅確保要配慮者に対する家賃無料住宅についての考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 開業保健師研究	6. 最初と最後の頁 10-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 井倉一政、岡野傑、小坂あさ美、井倉千佳、長尾聖子、藤本欣亮、辻本雄大、大井史佳、伊藤千里	4. 巻 2
2. 論文標題 クラウドファンディングを活用した新規保健事業の広報効果の考察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 開業保健師研究	6. 最初と最後の頁 21-26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 村田陽子、押栗泰代、渡邊玲子、川添高志、井倉一政、徳永京子	4. 巻 84(6)
2. 論文標題 公衆衛生活動における開業保健師の可能性と展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 公衆衛生	6. 最初と最後の頁 394-399
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazumasa Igura , Yuko Ohara , Suguru Okano	4. 巻 1
2. 論文標題 Regional Innovation by an Independent Public Health Nurse Practitioner in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The journal of independent health nurse	6. 最初と最後の頁 8-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件(うち招待講演 0件/うち国際学会 1件)

1. 発表者名 井倉一政、長尾聖子
2. 発表標題 クラウドファンディングを活用した保健活動の広報効果の考察
3. 学会等名 第8回日本公衆衛生看護学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 徳永京子、村田陽子、斎藤明子、三井洋子、押栗泰代、水越真代、渡邊玲子、井倉一政
2. 発表標題 開業を希望する保健師のニーズと人材育成
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村田陽子、徳永京子、斎藤明子、三井洋子、押栗泰代、水越真代、渡邊玲子、井倉一政
2. 発表標題 開業保健師の可能性と今後の展望
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazumasa Igura
2. 発表標題 Regional innovation by a public health nurse who started business in Japan
3. 学会等名 Technology, Market, and Complexity (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関